尾白川下流域アイスクライミング
ガンガノ沢,岩間ルンゼ,平田ルンゼ

L 河崎　田中　斉藤　小藤　平本
　山口（記録）
2009 年　1 月 23～24 日

　アイスクライミングに興味があると話していたら河崎さんが、ゲレンデで初心者でも参加できる山行を計画するがどうですか、とメールをくれた。アイスクライミングの道具はまったく持っていないが貸していただき初体験となった。

　前夜、２２時本厚木駅で集合し本日のテン場、竹宇駒ケ岳神社駐車場へ。夜なのにあまり寒くないのがちょっと心配だ。

　２３日６時３０分起床、日向林道のゲートまで車で行くことになる。林道は凍結と急坂で四駆車でないと心配なので山口の車は駐車場に置き斉藤さんのジムニーで２往復することにする。車止めのゲートからは１時間程でガンガノ沢前の東屋に着いた。先発隊の河崎さん、小藤さんがテントをすでに張っていてくれた。

［錦滝］

　ガンガノ沢Ｆ１の錦滝からは水が落ちる大きな音が聞こえてくる。あまり凍ってないようで近くに行くと水しぶきが降ってくる。

　準備をしてガンガノ沢Ｆ２へＦ１の巻き道を行くことにする。

［ガンガノ沢Ｆ２を登る田中さん］

　Ｆ２は氷の下に流水があるが登れるようだ。皆さんが取り付いたあと山口もトップロープ(TR)で登らせてもらう。記念すべき初のアイスクライミング！見よう見真似で登る。時間が掛かったものの傾斜も緩く階段状なのでなんとか登ることができた。

　Ｆ２を皆で２回程登ったあとは上流左俣先の小氷柱、スラブ状の氷壁があるエリアへ行く。斉藤さんと田中さんは小氷柱、河崎さんと小藤さんはスラブの氷壁にまずは取付いて登る。皆さん快適そうに登って行く。小藤さんは久々のアイスクライミングと言っていたがそんなことを感じさせない安定した登り。山口も小氷柱にTRで取付くが先程の

F2とは大違いだった。緩斜面と垂直の登りは全くの別物、全然登れずにもがいていたらビレイしていた斉藤さんが何とか上まで引き上げてくれた。そのあとはスラブ状氷壁と小氷柱を交代して登って１日目のクライミングは終了。テン場に戻る。

〔ガンガノ沢上流エリア〕

２日目、斉藤さんが平本さんを迎えに駐車場まで行き8時ごろ合流、6人の大パーティーになる。林道を１０分程歩くと岩間ルンゼの F1に着く。他のパーティーの話だと岩間ルンゼは F1だけしか登れない、とのこと。とりあえず6人で F1を登る。

そのあと林道を5分程戻ると平田ルンゼの出合、ここから入りいくつか小滝を越えるとナメ状６０mの氷、河崎さん小藤さんは快適に進んでいったが山口は斉藤さん田中さんらにビレイしてもらい進む。さらに進み１１時３０分頃、松竹梅の滝に到着。５０m程の立派な滝だ。小藤さん斉藤さんがリードで取付き登って行く。なかなかのスケールで登り応えがありそうだ。山口もセカンドでとり着くがこれがまたなかなか大変。先程のトップロープでのクライミングと違いカラビナとスクリューの回収をしなくてはいけないのだ。手袋での操作も不慣れでただただ苦労する

〔松竹梅の滝を登る小藤さん(左)と斉藤さん(右)〕

ばかり、しかも回収中に誤ってアックスを落としてしまった。幸い下にいた田中さんには当らずその位置まで田中さんに持ってきてもらう。そして手が冷たくなり感覚が無くなりながらもなんとか登りきることができた。

そのあとは何度か懸垂を交えて出合まで戻りテン場まで帰る。テントを撤収したあと林道を歩き、再び斉藤さんジムニーの2往復で駐車場まで戻った。

帰りは近くの尾白の湯に入りそこで食事も済ませて帰路に着いた。

アイスクライミング初体験はなかなか刺激的で楽しいものだった。垂直の氷壁は難しくて全く登れなかったが、できないこともまた楽しいこと。あとはギアの値段の高さがネックかな？と悩むところではあった。

参考　チャレンジ！アルパインクライミング
南アルプス･八ケ岳･谷川岳編